



春の優しく温かい気候が気持ち良い季節になりました。
自粛モードも少しずつ解除して、外出される方も多いと思います。
私は、5月の連休で足利フラワーパークに行ってきました。
冬はイルミネーションが有名ですが、春は藤の花が有名です。
特にムササキフジの大藤棚とシロフジのトンネルは一見の価値ありです。
夜にはライトアップされ、幻想的な雰囲気に甘い香りが相まって心の底から癒されます。
10万㎡の広大な敷地には、季節の花が多数植えられており、四季を通して楽しめます。
ウイルス、戦争、そして物価の上昇。
先の見えない情勢と身近な生活の不安がますます高まっており、
どうしても気持ちが落ち込みがちになってしまいますね。
そんなとき私は、自然に触れるようにしています。
全てを受け入れてくれて、ただ眺めるだけで気持ちが浄化される気がします。
皆様もぜひ近くの海、山、森など散策おススメです。



代表取締役 大江正孝

第9期がスタートしました。

4月15日に新しい期に向けた経営発表会を行いました。
今期は例年通り各部門目標はもちろん、より具体的な個人目標を設定することが発表されました。



「部門ごとの目標発表」



社長から
全体を通しての方針、
総務部、品質管理部からの
目標発表



部門目標が各部門長から
発表されました。
時計回りに
営業部、製造部（原反班／
製袋班）、業務部です。



午後は各部門／各班で集まって、
部門目標に対しての共通認識を持つ場、
個人目標への落とし込みかたについて話し合いを行いました。



SUNSHINE GARDEN

～～～ 社員の癒しスポット ～～～

SunShineGardenに春が訪れました。

昨年春に植えた芝桜が満開になりました♪チューリップやパンジーも
大きな花が付き、1年で1番華やかなSunShineGardenになっています。



タケノコ、によつきつき♪

3～4年ほど前から、隣のお屋敷の垣根を越えて、
モゾモゾとタケノコが顔を出すようになりました。
伸びないように、見つかるたびに折られてしまいます。



食べられる？
食べられない？



JAPAN PACK 2022[日本包装産業展]にお取引先様ブースで開催されましたトークショーに参加いたしました。
一昨年より開催しておりますWeb工場見学会(バーチャル工場見学)の説明や弊社が昨年販売を開始した
バイオマス和装シュリンクフィルム『和shu』と
今年、栃木県で開催される国体に向けて開発しております
おからを使ったバイオマスフィルムの説明でセッションしました。



コロナウィルスが流行する前まではお客様に弊社栃木工場にご来社いただき、定期的に開催しておりました工場見学会も、コロナウィルス感染防止のため、開催を中止しておりましたが、オンライン会議ツールのzoomを使用して、工場内のビデオ紹介や、ユーザーもよく使っているGoProを使用し、弊社担当が実際に工場内をご案内をする『Web工場見学会』を開催しております。この『Web工場見学会』は、定期的な開催はしておりませんので、ご希望されるお客様は、是非！
弊社営業まで問い合わせをいただけましたら幸いです。

2022年春 新入社員2名が入社しました

4月1日に新入社員2名が入社しました！
この3月に高校を卒業したばかりのフレッシュな新人さんです。
製造部の原反班と製袋班にそれぞれ1名配属となります。
約1ヶ月間の研修期間を終えて、
GWの連休明けでそれぞれの業務にあたっています。



先輩指導のもとで毎日毎日、早く業務に慣れようと頑張っています！



私たち、栃木工場がある町にはこんなものがあります。 シリーズ 24

塩原温泉 足湯回廊『湯っ歩の里』



所在地：〒329-2921 那須塩原市塩原602-1
JR那須塩原駅から車で35分

那須工場から車で約20分。
塩原温泉郷にある足湯回廊「湯っ歩(ゆっぽ)の里」は全長60メートル(30メートル×2)の「日本最大級の足湯」です。
湧き出る温泉を利用した体験型温浴施設で、幅1.5mの足湯回廊は複数ゾーンに分けられており湯温の変化があったり、敷き詰められた石の大小で足裏を刺激出来たりと気軽に温浴体験ができます。
ひたすら歩くもよし、ベンチに腰かけてのんびりするもよし！
20分程度で全身がぽかぽかです。
入館料は大人200円/小中学生100円/幼児無料のお手頃価格で、日帰り入浴までは時間がないわ・・・という方でも、気軽に温泉気分を味わえます♪♪



編集後記 連休明け、汗まみれも多くなっていました。春は短くあっという間に夏になりそうです。今年、栃木県では国体が開催予定となっており、弊社でもバイオマスフィルムを使った製品で地元那須塩原市へ協賛いたします。
新しい期も始まり、社員一丸いろいろなことに積極的にチャレンジしていく1年にしたいです。引き続きご期待に沿えるよう精進してまいります。
今後もサンプラスチックをよろしくお願いいたします。



発行日：令和4年5月17日
発行：サンプラスチック株式会社
編集：サンPlusNews係
次回夏号は9月中旬発行予定です。